

【目次】

1. 井堀繁雄研究会(労働運動家・政治家・協同組合運動家)を開催。
2. 一般財団法人日本労働会館 2021 年度 第 3 回理事会を開催。
3. ゴールデンウィーク 4 月 29 日(金)～5 月 8 日(日)の間、歴史館は閉館。

1.井堀繁雄研究会を開催。

井堀繁雄研究会(代表:梅澤昇平 氏) が 3 月 24 日(木)、友愛労働歴史館書庫閲覧室にて、x 名の出席をもって開催されました。本研究会は、2018 年に発足。井堀繁雄(労働運動家・政治家・協同組合運動家)の資料の収集・管理・研究に取り組んできました。

井堀繁雄は、1915 年八幡製鐵所に務め、1918 年神戸川崎造船所の職工に転じ、1919 年友愛会に加わり、1921 年(大正 10 年)の川崎・三菱大争議に参加し、検挙され、同時に解雇、6 カ月投獄されました。そして日本労働学校を卒業した 1925 年に埼玉県・現在の草加市の大阪窯業に入社。その後、埼玉・川口を拠点に総同盟運動に取り組んでいます。また、社会民衆党埼玉県連書記長、同党中央委員、社会大衆党埼玉県連執行委員を歴任しました。

戦後、総同盟再建に加わり、日本労働組合総同盟副会長、全国金属産業労働組合同盟会長(現 JAM)や日本労働会館の理事長を務めました。また政治家として、西尾末廣国務大臣秘書官、経済安定本部員など活躍した人物です。

研究会では、①井堀繁雄の生涯とその意義②井堀繁雄研究会について報告されました。

2. 一般財団法人日本労働会館 2021 年度 第 3 回理事会を開催。

第 3 回理事会が 3 月 22 日(火)友愛会館にて開催されました。冒頭、宮本礼一代表理事から、「3 年に及ぶ新型コロナウイルス・パンデミックによって、一般社団法人日本労働会館は事業運営の大転換に迫られている。財団財政の柱となるはずだった宿泊事業収入の激減により、財団存続の見通しが立たなくなってきた。また、人とのつながり、コミュニケーションに頼ってきた公益事業運営も人を集めるイベントや講演会、展示会の開催が出来なくなった。現在、不動産の一部売却により運営資金を確保、宿泊事業を委託することによって収益見通しの安定化をめざしている。これら財政基盤の健全化努力と同時に、公益事業運営を財政、人材、設備等、その他色々合わせて改革していく必要に迫られている。具体的には、公益事業検討委員会の設置となる態勢と枠組みを提案する。」と発言がありました。なお、議案はすべて採択されました。

3. ゴールデンウィーク 4 月 29 日(金)～5 月 8 日(日)の間、歴史館は閉館。

友愛労働歴史館は、上記期間中、5 月 2 日(月)、6 日(金)を臨時の休館日とします。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行:友愛労働歴史館

責任者:徳田 孝蔵

担当者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール yuairedokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedokishikan.com>

惟一館から 128 年、友愛会から 110 年